

施策番号	6
------	---

施策評価シート（評価対象年度：令和4年度）

基本政策	1	子育て・教育・学び
主要施策名	6	生涯スポーツ
5年後のまちの姿	〇年齢や性別、障がいの有無等にかかわらず多くの市民が生活の中でスポーツに親しみ、心身ともに健康的な生活を送っています。	
施策展開の基本的な考え方	行政は、身近な活動場所となる体育施設等の適切な管理、活動団体に対する支援、スポーツを見て楽しむ機会の創出等によって、市民が生涯スポーツ活動に取り組みやすい環境づくりと交流の促進を進めます。 市民等は、体育施設等の利用・観戦マナーを守りながら、自身の健康・体力の状態に見合った運動・観戦・ボランティア等を通じて多様なスポーツ活動を定期的・持続的に実施するとともに、活動の輪を広げるよう努めます。	
実現に向けた取組	①習慣的な運動につながる多様なプログラムの提供 ②施設の適切な維持管理と利用促進 ③スポーツを通じた交流の促進と地域の活性化	
施策担当課・係	生涯学習課 スポーツ振興係	
施策関係課・係	健康づくり課 元気応援係	

I 施策の実施状況

1 施策全体の事業費

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費（千円）	169,549				
事務事業数	15				
うち、事務事業評価対象	13				

2 成果指標の達成状況

指標	単位	基準値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和8年度最終目標
1回30分以上の運動を週2回以上実施し、1年以上継続している市民の割合（アンケート調査）	%	男 21.1 女 17.9	未把握					男 26.9 女 21.0
ふれすぽ胎内（トレーニングルーム）の延べ利用者数〔年間〕	人	12,779	15,392					18,000
スポーツ・ツーリズムイベント参加者数〔年間〕	人	148	679					1,000
成果指標による現状分析	コロナ禍前に行っていたスポーツ事業は感染対策予防を講じた上で全て行うことが出来た。ウォーキング等に対する市民への参加意欲は高い。 トレーニングルーム利用者数については、健康の維持・向上への高まりから昨年を上回る利用者数となった。							

3 施策の進捗状況

達成度	〇概ね順調
評価の理由	ふれすぽ胎内のアリーナ、トレーニングルーム、ランニングレーン利用者数については、昨年を上回る利用者数となり、健康志向の高まりと併せて今後はコロナ前の水準に近づいていくものと思われる。 昨年度はコロナ禍で中止されたスポーツ事業があったが、本年度については全て事業を行うことが出来た。

4 取組の状況と今後の方向性

① 習慣的な運動につながる多様なプログラムの提供

施策の内容
<ul style="list-style-type: none"> ・総合型地域スポーツクラブやその他の活動団体と連携し、医療・福祉分野の取組を巻き込んで、年齢や性別、障がいの有無等にかかわらず参加したくなるようなプログラムの提供に取り組みます。 ・子どもがスポーツに触れるきっかけや体力向上、社会性を培う貴重な場となっているスポーツ少年団・スポーツ教室の活性化に向けて、指導者の育成や負担軽減、親子で参加できるプログラムの提供等に取り組みます。 ・砂浜、登山道、河川堤防等で、自然に親しみながら健康・体力づくりにもつながる運動ができるような環境整備を検討します。
これまでの主な取組と実績
<ul style="list-style-type: none"> ・平成31年4月より、ぶれすぼ胎内を始めとした社会体育施設をNPO法人スポーツクラブたいないが指定管理者となり、市民と身近な存在として管理業務を実施しており好評を得ている。 ・スポーツを身近に感じることができるイベントとして毎年開催してきた、たいないスポーツフェスティバルを変更し、年齢や性別等にかかわらず参加できるイベントを開催した。 ・実行委員会形式で行われたイベントに補助金などにより開催支援を行った。(橈形ウインドトレイル、たいない高原マラソン、ツールド胎内(サイクルイベント))
主な課題と今後の対応
<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツを手段とした医療費抑制への期待感が増しているが、特にスポーツ実施率が低いビジネスパーソンや子育て世代を対象としたスポーツに触れる機会の提供は、今後より力を入れて取り組むべきことであり、NPO法人スポーツクラブたいないと連携等を図りたい。 ・市民のスポーツ実施率が平成29年度調査で35%であり、国の51.5%と比較して低いことから、特に無関心層や女性及びビジネスパーソンへの具体的な諸施策により改善に努めたい。 ・障がい者と健常者とが一緒にできるパラスポーツを、より身近なものとなるよう市民向けの体験会を実施していきたい。 ・親子で参加できる取組や休日でも参加しやすいスポーツの普及により、子どもがスポーツに触れるきっかけの提供を進めたい。 ・市民が日常においても個人で気軽に取り組むことができる通勤時のウォーキングや休憩時間等を活用した自重で行う筋肉トレーニングを推奨することで、裾野の拡大を図りたい。

② 施設の適切な維持管理と利用促進

施策の内容
<ul style="list-style-type: none"> ・各施設については、体育施設としての利用状況や市民の利便性に加えて、防災機能等を総合的に評価し、廃止を含めて今後の利用計画を検討します。 ・管理運営や利用促進に民間のノウハウや資金、人材を積極的に活用して、施設の有効活用を図ります。 ・ぶれすぼ胎内、総合グラウンド、リバーサイドパーク等の拠点施設が集積するエリアを健康・体力づくりの拠点と位置付け、障がいのある人を含めた多様な市民が利用しやすい環境づくりをソフト、ハードの両面から検討します。
これまでの主な取組と実績
<ul style="list-style-type: none"> ・黒川体育館利用廃止(令和3年度)、解体(令和4年度)を実施。 ・NPO法人スポーツクラブたいないを指定管理者に、ぶれすぼ胎内など全14施設を指定管理施設としている。(指定期間令和6年3月まで) ・ぶれすぼ胎内のトレーニングルームやランニングレーンの利用人数が増加しており、個人が気軽にスポーツ・運動に取り組もうとする機運の醸成につながっている。
主な課題と今後の対応
<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化している旧小学校体育館やサンビレッジ中条、レクホールについて、順次修繕を行っていく必要がある。 ・黒川地区には体育館がなくなり、地域スポーツ施設も老朽化により廃止になった場合、社会体育施設が不足し、市民への利用に影響が出てくる可能性があることから既存施設の改修、計画的な利用方法を検討する必要がある。 ・ウォーキングイベントに胎内市の自然や観光も同時に楽しめて親子でも参加しやすいイベントを企画、開催しスポーツへの関心を高めていく必要がある。

③ スポーツを通じた交流の促進と地域の活性化

施策の内容
<ul style="list-style-type: none"> ・市内外のスポーツ団体、選手等との交流を通じて、競技者だけでなく一般市民も観戦・応援やボランティア等でスポーツの魅力に触れる機会を創出します。 ・レベルの高い競技を見る、専門家から指導を受ける等により、トップアスリートを目指すきっかけづくりや市民のスポーツ活動に触れる機会の増大を図ります。
これまでの主な取組と実績
<ul style="list-style-type: none"> ・実行委員会形式で行われたイベントに補助金などにより開催支援を行った。(橈形ウインドトレイル、たいない高原マラソン、ツールド胎内(サイクルイベント)) [再掲]
主な課題と今後の対応
<ul style="list-style-type: none"> ・たいない高原マラソンなどで、スポーツボランティアの必要性が増している。スポーツボランティアとしてスポーツの魅力に触れ、スポーツを身近に感じることができる機会の創出に努めたい。 ・少子化や、多様な社会の在り方によりスポーツ競技人口が減少してきており、各団体においては人数確保に苦慮している中で、各競技のトップアスリートを招いてのクリニック開催や講演会を開催することにより、各種競技への関心を高めていくとともに競技人口の増加を図り、スポーツの楽しさを見つけてもらう。

5 施策の今後の方針

<p>施策方針</p>	<p>◎拡充</p>
<p>施策方針に関する説明</p>	<p>医療・福祉分野の取組みを巻き込んで、年齢や性別、障がいの有無等にかかわらず参加したくなるようなプログラムの提供に取り組めます。 各種競技への関心を高めるために、子どもだけでなく大人でも興味をもてるようなスポーツ体験教室等を開催し、スポーツ人口の増加に努めます。 社会体育施設長寿命化計画を策定し、今後の施設管理等の方向性を明らかにしていく。胎内 DEERS と共に、アメリカンフットボールというスポーツを通じ、市民が心身ともに健康で豊かな生活を送ることのできる社会を創造する。</p>

II 施策を構成する事業等

事業 コード	事務事業名	R4		R5		達成度	今後の 方向性	担当課
		事業費	うち 一般財源	当初予算額	うち 一般財源			
160111	スポーツバス運行事業	3,100	3,100	4,163	4,163	○	③	生涯学習課
160112	育てるスポーツ事業	1,594	1,594	1,709	1,709	◎	②	生涯学習課
160210	総合グラウンド管理事業	5,735	3,850	9,765	5,081	○	③	生涯学習課
160211	地域スポーツ施設管理事業	670	670	1,085	1,081	◎	③	生涯学習課
160213	サンビレッジ中条管理事業	34	34	42	42	◎	③	生涯学習課
160214	黒川体育館管理事業	427	427	283	282	-	⑦	生涯学習課
160215	山村広場管理事業	5,862	5,778	7,872	7,795	△	③	生涯学習課
160216	B & G 海洋センター管理事業	2,533	2,492	148,855	39,213	◎	②	生涯学習課
160217	胎内ライフル射撃場管理事業	4,004	3,714	5,976	5,717	×	⑤	生涯学習課
160218	総合体育館管理事業	91,738	82,670	88,534	76,325	○	①	生涯学習課
160220	胎内レクホール管理事業	1,238	1,069	1,663	1,543	◎	③	生涯学習課
160310	競うスポーツ事業	4,563	4,563	3,995	3,995	◎	③	生涯学習課
160311	する・みるスポーツ事業	2,225	2,225	2,671	2,503	○	①	生涯学習課

事務事業評価シート（評価対象年度：令和4年度事業）

事業コード	160111		担当課	生涯学習課	担当係	スポーツ振興係	担当者				
事務事業名	スポーツバス運行事業			事業年度	令和4年度		会計区分	一般会計			
基本政策	1	子育て・教育・学び		事業コード	大	16	生涯スポーツ	予算科目	款	10	教育費
主要施策	6	生涯スポーツ			中	01	習慣的な運動につながる多様なプログラムの提供		項	07	保健体育費
					小	11	スポーツバス運行事業		目	01	保健体育総務費
事務区分	法定受託事務		自治事務	○	根拠法令	スポーツ基本法		関連計画	胎内市スポーツ推進計画		
	法令による義務付け		任意		関連例規						

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	各種スポーツ大会の参加に伴う移動の支援としてスポーツバスを運行する。
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツバス2台の運行 ・スポーツバス2台の法定点検 ・スポーツ推進以外の教育委員会及び他課の事業支援
実施方法	市が直接実施＋委託

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	○				
評価の理由	◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない 一般スポーツ団体のみならず、市内小学校のプール授業や少年自然の家のカヌー授業でバスを運行し、各事業が円滑に進めるように運行した。				

5 主な取組と実績（令和4年度～）

[R4] 事業継続

2 事業費の状況（令和4年度は実績値、令和5年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
総事業費（千円）	3,100	4,163			
国・県支出金	0	0			
地方債	0	0			
その他	0	0			
一般財源	3,100	4,163	0	0	0
人件費（千円）	562	0	0	0	0
正(h) ※事業費	600	0	0	0	0
※委任(山) ※事業費	0	0	0	0	0
総事業費＋人件費	3,662	4,163	0	0	0
財源「その他」内訳					
事業費の主な支出内容	運転業務委託 1,992千円 燃料費 1,100千円 修繕費 707千円				
算出方法	一般財源（人件費を除く）／利用人数				
実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	1,140円				

6 協働の状況

協働の状況	実施不可
具体的な状況	バスの運転業務委託に市民協働の余地がないため。

7 事業の課題

申請内容や件数が近年増えており、スポーツバス制度が浸透してきた一方で、ドライバーの負担が増えているため、適正な業務量となるようにドライバーの増員・確保を検討していきたい。

3 指標値の状況

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
産出指標	名称	年間運行回数	年間運行回数	年間運行回数	
	目標	170回	170回	170回	
	実績	158回			
成果指標	名称	年間利用者人数	年間利用者人数	年間利用者人数	
	目標	3,400人	3,400人	3,400人	
	実績	3,102人			
	目標比	91.2%			

8 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	③				
・事業委託しているNPO法人スポーツクラブたいないとより連携を深め、円滑な運行となるように努める。					

9 二次評価委員会所見

今後の方向性	成果の方向性	拡充	維持	縮小	休廃止	削減	縮小	維持	拡大
		④	②	①					
		⑤	③						
		⑥							
		⑦							
コスト投入の方向性									

事務事業評価シート（評価対象年度：令和4年度事業）

事業コード	160112		担当課	生涯学習課	担当係	スポーツ振興係	担当者			
事務事業名	育てるスポーツ事業		事業年度	令和4年度		会計区分	一般会計			
基本政策	1	子育て・教育・学び	事業コード	大	16	生涯スポーツ	予算科目	款	10	教育費
主要施策	6	生涯スポーツ		中	01	習慣的な運動につながる多様なプログラムの提供		項	07	保健体育費
				小	12	育てるスポーツ事業		目	01	保健体育総務費
事務区分	法定受託事務		自治事務	○	根拠法令	スポーツ基本法				
	法令による義務付け		努力義務+任意		関連法規		関連計画	胎内市スポーツ推進計画		

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	乳幼児期から学童・思春期にかけてスポーツに親しむ環境づくりを推進し、生涯にわたる運動習慣の基礎を築く。
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ少年団活動への補助や指導者育成事業に対してスポーツ振興補助金交付 ・親子イベントの開催（チャレンジポーツ夏・スキー教室） ・スポーツ教室（キッズ運動等）の開催
実施方法	市が直接実施+委託

2 事業費の状況（令和4年度は実績値、令和5年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
総事業費（千円）	1,594	1,709			
国・県支出金	0	0			
地方債	0	0			
その他	0	0			
一般財源	1,594	1,709	0	0	0
人件費（千円）	937	0	0	0	0
正(h) ※事業費	1,000	0	0	0	0
※事業任用(h) ※事業費	0	0	0	0	0
総事業費+人件費	2,531	1,709	0	0	0
財源「その他」内訳					
事業費の主な支出内容	胎内市スポーツ振興補助金 1,020千円 報償費 130千円				
算出方法	補助金を除く事業費/運動に親しむ事業回数				
実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	7,150円				

3 指標値の状況

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
産出指標	名称	スポーツ振興補助金の交付	スポーツ振興補助金の交付	スポーツ振興補助金の交付	
	目標	1件	1件	1件	
	実績	1回			
成果指標	名称	幼児・児童を対象とした運動に親しむ事業数	幼児・児童を対象とした運動に親しむ事業数	幼児・児童を対象とした運動に親しむ事業数	
	目標	8回	8回	8回	
	実績	8回			
	目標比	100%			

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	◎				
◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない					
評価の理由	<ul style="list-style-type: none"> ・NPOに一部事業を委託し、幼児向けの運動教室等を開催した。 ・体力測定にイベント色をプラスし、ぶれすほ胎内利用者や市内スポーツ少年団に告知し、親子から単独の方まで参加しやすいうなメニューを作成し、昨年を上回る参加者獲得に成功した。 				

5 主な取組と実績（令和4年度～）

[R4] 事業継続

6 協働の状況

協働の状況	実施不可
具体的な状況	各種教室の開催は委託によるものであるため。

7 事業の課題

スポーツ少年団活動においては、少子化が進む中でも団への加入率を上げていくことが必要となる。

8 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	②				
<ul style="list-style-type: none"> ・部活動地域移行に伴い、地域住民、保護者、中学校、市教育委員会と連携を図り、子供たちの育成に取り組んでいく。 ・小学生以下のジュニア期においては、気軽に運動できる場を提供するとともに、運動をすることによる脳の活性化や怪我予防など、生涯スポーツに繋がっていくような事業を展開していく。 ・子供が主体的に運動に関わることでできる機会を提供し、良好なスポーツ・運動習慣の確立のために継続した事業とする。 					

9 二次評価委員会所見

	今後の方向性				
成果の方向性	拡充	④	②	①	
	維持	⑤	③		
	縮小	⑥			
	休廃止	⑦			
		削減	縮小	維持	拡大
コスト投入の方向性					

事務事業評価シート（評価対象年度：令和4年度事業）

事業コード	160210		担当課	生涯学習課	担当係	スポーツ振興係	担当者		
事務事業名	総合グラウンド管理事業			事業年度	令和4年度	会計区分	一般会計		
基本政策	1	子育て・教育・学び		事業コード	大	16	生涯スポーツ	10	教育費
主要施策	6	生涯スポーツ			中	02	施設の適切な維持管理と利用促進	07	保健体育費
					小	10	総合グラウンド管理事業	02	体育施設費
事務区分	法定受託事務		自治事務	○	根拠法令				
	法令による義務付け		努力義務+任意		関連例規	胎内市社会体育施設条例		関連計画	胎内市スポーツ推進計画/胎内市公共施設等総合管理計画

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	指定管理者制度により、陸上競技場、体育館、野球場、テニスコート、の効率的な管理運営、効果的な整備を行い、利用者にとって一層利用しやすい施設とし、もって生涯スポーツの振興を図る。 (指定管理期間：2019年度～2023年度)
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 第2期指定管理期間（H31～R5） 陸上競技場写真判定機保守点検委託 樹木剪定委託 総合グラウンド体育館防水改修工事
実施方法	指定管理

2 事業費の状況（令和4年度は実績値、令和5年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
総事業費（千円）	5,735	9,765			
国・県支出金	0	0			
地方債	0	0			
その他	1,885	4,684			
一般財源	3,850	5,081	0	0	0
人件費（千円）	375	0	0	0	0
正(h) ※事業費	400	0	0	0	0
※委任(h) ※事業費	0	0	0	0	0
総事業費+人件費	6,110	9,765	0	0	0
財源「その他」内訳	光熱水費負担金1,885千円				
事業費の主な支出内容	総合グラウンド体育館防水工事1,782千円 写真判定機保守委託499千円 剪定業務委託484千円				
算出方法	一般財源(人件費を除く) / 利用人数 ・・指定管理料は総合体育館で計上				
実績	116円				

3 指標値の状況

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
産出指標	名称	施設利用可能日数	施設利用可能日数	施設利用可能日数	
	目標	357日	357日	357日	
	実績	357日			
成果指標	名称	年間利用者数	年間利用者数	年間利用者数	
	目標	40,000人	40,000人	40,000人	
	実績	38,667人			
	目標比	96.7%			

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	○				
◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない					
評価の理由	陸上競技会や学校部活動、グラウンドゴルフなど、広く利用されている。 R4年度は新型コロナウイルスが落ち着いたこともあり、メインの陸上競技場と総合グラウンドがコロナウイルス感染拡大前の利用者数に戻った。総合グラウンド体育館においても、徐々に利用者数が戻りつつある。				

5 主な取組と実績（令和4年度～）

実施内容	
------	--

6 協働の状況

協働の状況	実施不可
具体的な状況	第2期指定管理期間（～R5年度）

7 事業の課題

課題	TAINAI DEERSの試合が陸上競技場で行われるということもあり、スタンドの雨漏りを早急に補修する必要がある。
----	---

8 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	③				
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 今後TAINAI DEERSがホームコートとして競技場を使用することからも、3種公認が今後も必要なのか、競技団体と協議していく。 平成31年度より指定管理制度を導入し、市民ニーズに合った管理運営と経費削減を図る。 				

9 二次評価委員会所見

今後の方向性	
--------	--

今後の方向性		④	②	①
成果の方向性	拡充	×	×	×
	維持	×	⑤	③
	縮小	×	⑥	×
	休廃止	⑦	×	×
	削減	縮小	維持	拡大
コスト投入の方向性				

事務事業評価シート（評価対象年度：令和4年度事業）

事業コード	160211		担当課	生涯学習課	担当係	スポーツ振興係	担当者		
事務事業名	地域スポーツ施設管理事業			事業年度	令和4年度	会計区分	一般会計		
基本政策	1	子育て・教育・学び		事業コード	大	16	生涯スポーツ	10	教育費
主要施策	6	生涯スポーツ			中	02	施設の適切な維持管理と利用促進	07	保健体育費
					小	11	地域スポーツ施設管理事業	02	体育施設費
事務区分	法定受託事務		自治事務	○	根拠法令				
	法令による義務付け		任意		関連例規	胎内市社会体育施設条例	関連計画	胎内市スポーツ推進計画／胎内市公共施設等総合管理計画	

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	指定管理者制度により、地域スポーツ施設（築地、竹島、高浜、本条、柴橋）の効率的な管理運営、効果的な整備を行い、利用者にとって一層利用しやすい施設とし、もって生涯スポーツの振興を図る。 （指定管理期間：2019年度～2023年度）
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 第2期指定管理期間（H31～） 旧乙地域スポーツ施設の土地借地 R4～高浜地域スポーツ施設（体育館）利用廃止
実施方法	指定管理

2 事業費の状況（令和4年度は実績値、令和5年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
総事業費（千円）	670	1,085			
国・県支出金	0	0			
地方債	0	0			
その他	0	4			
一般財源	670	1,081	0	0	0
人件費（千円）	187	0	0	0	0
正(h) ※事業費	○ 200	0	0	0	0
※任用(h) ※事業費	0	0	0	0	0
総事業費+人件費	857	1,085	0	0	0
財源「その他」内訳					
事業費の主な支出内容	除草作業委託料250千円 火災保険料121千円				
算出方法	一般財源（人件費を除く）／利用人数 ・・指定管理料は総合体育館で計上				
実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
35円					

3 指標値の状況

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
産出指標	名称	地域スポーツ施設数（屋内運動場）	地域スポーツ施設数（屋内運動場）	地域スポーツ施設数（屋内運動場）	
	目標	5か所	5か所	5か所	
	実績	5か所			
成果指標	名称	年間利用者数	年間利用者数	年間利用者数	
	目標	11,000人	11,000人	11,000人	
	実績	15,516人			
	目標比	141.1%			

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	◎				
◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない					
評価の理由	施設の老朽化が進行しているが、人工芝を張りゲートボールコートが整備された柴橋地域スポーツ施設、中学校部活動での利用がある本条地域スポーツ施設は、他の地域スポーツ施設に比べ利用が多い。総合体育館がコロナワクチン接種会場となったため、竹島、築地の利用者増となった。				

5 主な取組と実績（令和4年度～）

実施方法	
------	--

6 協働の状況

協働の状況	実施不可
具体的な状況	第2期指定管理期間（～R5年度）

7 事業の課題

築地地域スポーツ施設は雨漏りがしてきている状況。老朽化が進んでいるが、大規模改修等は行わないこととし、保有する施設を決定していく必要がある。今後、各地域スポーツ施設が老朽化により廃止になれば、施設不足になることが想定される。
--

8 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	③				
<ul style="list-style-type: none"> 平成28～30年度の第1期指定管理期間を経て、第2期指定管理期間となっている。 定期的な修繕を行い、使用期間を延長していく。 					

9 二次評価委員会所見

今後の方向性				
成果の方向性	拡充	④	②	①
	維持	⑤	③	
	縮小	⑥		
	休廃止	⑦		
		削減	縮小	維持
コスト投入の方向性				

事務事業評価シート（評価対象年度：令和4年度事業）

事業コード	160213		担当課	生涯学習課	担当係	スポーツ振興係	担当者		
事務事業名	サンビレッジ中条管理事業			事業年度	令和4年度	会計区分	一般会計		
基本政策	1	子育て・教育・学び		事業コード	大	16	生涯スポーツ	10	教育費
主要施策	6	生涯スポーツ			中	02	施設の適切な維持管理と利用促進	07	保健体育費
					小	13	サンビレッジ体育館管理事業	02	体育施設費
事務区分	法定受託事務		自治事務	○	根拠法令				
	法令による義務付け		任意		関連例規	胎内市社会体育施設条例		関連計画	胎内市スポーツ推進計画/胎内市公共施設等総合管理計画

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	指定管理者制度により、サンビレッジ中条の効率的な管理運営、効果的な整備を行い、利用者にとって一層利用しやすい施設とし、もって生涯スポーツの振興を図る。 (指定管理期間：2019年度～2023年度)
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> サンビレッジ中条の維持・管理 利用者へ貸し出し等業務 (業務委託先/NPO法人スポーツクラブたない)
実施方法	指定管理

2 事業費の状況（令和4年度は実績値、令和5年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
総事業費（千円）	34	42			
国・県支出金	0	0			
地方債	0	0			
その他	0	0			
一般財源	34	42	0	0	0
人件費（千円）	94	0	0	0	0
正(h) ※事業費	○ 100	0	0	0	0
※委託料	0	0	0	0	0
※任用料	0	0	0	0	0
総事業費+人件費	128	42	0	0	0
財源「その他」内訳					
事業費の主な支出内容	火災保険料34千円				
算出方法	一般財源(人件費を除く) / 利用人数				
実績	2円				

3 指標値の状況

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
産出指標	名称	施設利用可能日数	施設利用可能日数	施設利用可能日数	
	目標	357日	357日	357日	
	実績	357日			
成果指標	名称	年間利用者数	年間利用者数	年間利用者数	
	目標	16,000人	16,000人	16,000人	
	実績	17,064人			
	目標比	106.7%			

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	◎				
◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない					
評価の理由	高台に立地されているため「交通に不便だ」という意見もあるが、定期利用団体等に利用されている。コロナウイルス感染拡大が落ち着いたことにより、施設利用者は横這いとなった。				

5 主な取組と実績（令和4年度～）

実施方法		指定管理
------	--	------

6 協働の状況

協働の状況	実施不可
具体的な状況	第2期指定管理期間（～R5年度）

7 事業の課題

課題	平成11年の開設以来20年以上が経過してきており、雨漏りがひどく、腐食した天井の落下やランニングレーンの一部利用不可など、老朽化の影響が激しくなっており、利用者から再三にわたリクレームが寄せられている。
----	---

8 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	③				
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 平成31年度より指定管理者制度を導入し、市民ニーズに合った管理運営と経費削減を行った。 維持補修工事を行い、長く利用できるようにしていく必要がある。 ソフトテニスの団体の定期活動のほかに板額太鼓など社会教育団体の定期活動もあり利用頻度も高いことに加え、開志国際の利用も多いことから利用者間の調整をしていく必要がある。 				

9 二次評価委員会所見

今後の方向性						
成果の方向性	拡充	④	②	①		
	維持	⑤	③			
	縮小	⑥				
	休廃止	⑦				
		削減	縮小	維持	拡大	
コスト投入の方向性						

事務事業評価シート（評価対象年度：令和4年度事業）

事業コード	160214		担当課	生涯学習課	担当係	スポーツ振興係	担当者				
事務事業名	黒川体育館管理事業			事業年度	令和4年度		会計区分	一般会計			
基本政策	1	子育て・教育・学び		事業コード	大	16	生涯スポーツ	予算科目	款	10	教育費
主要施策	6	生涯スポーツ			中	02	施設の適切な維持管理と利用促進		項	07	保健体育費
					小	14	黒川体育館管理事業		目	02	体育施設費
事務区分	法定受託事務		自治事務	○	根拠法令						
	法令による義務付け		任意		関連例規	胎内市社会体育施設条例		関連計画	胎内市スポーツ推進計画／胎内市公共施設等総合管理計画		

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	令和3年度にて利用廃止。 令和4年度に解体実施
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 黒川体育館の維持・管理（直営） 黒川多目的広場（直営） 利用者へ貸し出し等業務
実施方法	市が直接実施＋委託

2 事業費の状況（令和4年度は実績値、令和5年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
総事業費（千円）	427	283			
国・県支出金	0	0			
地方債	0	0			
その他	0	1			
一般財源	427	282	0	0	0
人件費（千円）	131	0	0	0	0
正(h) ※事業費	○ 140	0	0	0	0
※事業費(任用) ※事業費	0	0	0	0	0
総事業費＋人件費	558	283	0	0	0
財源「その他」内訳					
事業費の主な支出内容	除草作業等委託料 140千円 光熱水費 108千円				
単位コスト	算出方法				
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度

3 指標値の状況

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
産出指標	名称	施設利用可能日数	施設利用可能日数	施設利用可能日数		
	目標	0日	0日	0日		
	実績	0日				
成果指標	名称	年間利用者数	年間利用者数	施設利用可能日数		
	目標	0人	0人	0人		
	実績	0人				
	目標比	-				

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	-				
◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない					
評価の理由	黒川体育館解体に伴い、使用実績なし。				

5 主な取組と実績（令和4年度～）

[R4] 黒川体育館解体

6 協働の状況

協働の状況	実施不可
具体的な状況	黒川体育館はR3年度で施設を廃止し、黒川多目的広場は黒川中町へ管理委託している。

7 事業の課題

黒川体育館施設解体に伴い、跡地の管理、利活用方法の検討。

8 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	⑦				
・体育館跡地を有効に活用するために必要に応じて他課とも適切に協議していく。					

9 二次評価委員会所見

	今後の方向性				
成果の方向性	拡充	④	②	①	
	維持	⑤	③		
	縮小	⑥			
	休廃止	⑦			
		削減	縮小	維持	拡大
コスト投入の方向性					

事務事業評価シート（評価対象年度：令和4年度事業）

事業コード	160215		担当課	生涯学習課	担当係	スポーツ振興係	担当者			
事務事業名	山村広場管理事業			事業年度	令和4年度		会計区分	一般会計		
基本政策	1	子育て・教育・学び		事業コード	大	16	生涯スポーツ	款	10	教育費
主要施策	6	生涯スポーツ			中	02	施設の適切な維持管理と利用促進	項	07	保健体育費
					小	15	山村広場（胎内球場）管理事業	目	02	体育施設費
事務区分	法定受託事務		自治事務	○	根拠法令					
	法令による義務付け		努力義務＋任意		関連例規	胎内市社会体育施設条例		関連計画	胎内市スポーツ推進計画／胎内市公共施設等総合管理計画	

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	胎内球場・芝グラウンド・キャンプ場の効率的な管理運営、効果的な整備を行い、利用者にとって一層利用しやすい施設とし、もって生涯スポーツの振興を図る。
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 胎内球場及び芝グラウンドの維持・管理（直営） 利用者へ貸し出し等用務
実施方法	市が直接実施＋委託

2 事業費の状況（令和4年度は実績値、令和5年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
総事業費（千円）	5,862	7,872			
国・県支出金	0	0			
地方債	0	0			
その他	84	77			
一般財源	5,778	7,795	0	0	0
人件費（千円）	562	0	0	0	0
正(h) ※事業費	600	0	0	0	0
※委託料	0	0	0	0	0
※人件費	0	0	0	0	0
総事業費＋人件費	6,424	7,872	0	0	0
財源「その他」内訳	胎内野球場使用料 84千円				
事業費の主な支出内容	管理補助員賃金 1,136千円 光熱水費 1,101千円				
単位コスト	算出方法 一般財源（人件費を除く）／利用人数				
実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	2,427円				

3 指標値の状況

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
産出指標	名称	施設利用可能日数	施設利用可能日数	施設利用可能日数	
	目標	200日	200日	200日	
	実績	198日			
成果指標	名称	年間利用者数	年間利用者数	年間利用者数	
	目標	3,000人	3,000人	3,000人	
	実績	1,929人			
	目標比	64.3%			

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	△				
◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない					
評価の理由	利用者は前年度比11%の増加となったが、8月の大雨災害による影響で利用停止している時期があったこと、冬期間は利用ができないことから、目標値は6割にとどまった。				

5 主な取組と実績（令和4年度～）

[R4] 事業継続

6 協働の状況

協働の状況	実施不可
具体的な状況	施設管理運営であるため

7 事業の課題

<ul style="list-style-type: none"> ナイター照明及び電動スコアボードの維持に対する方向性を検討する必要がある（今後、多大な経費に係る可能性がある）

8 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	③				
<ul style="list-style-type: none"> 市外団体の利用や市民団体の利用促進に努めていきたい。 R5年度は8月に複数団体がすでに合宿の予約をいただいているため、利用者の増加が見込まれる。 芝グラウンド（胎内多目的広場）は利用が夏場の数回と極端に少ないため、市民ニーズに合わせて経費削減を検討していきたい。 					

9 二次評価委員会所見

今後の方向性	拡充	④	②	①	
	維持	⑤	③		
	縮小	⑥			
	廃止	⑦			
	削減	縮小	維持	拡大	
コスト投入の方向性					

事務事業評価シート（評価対象年度：令和4年度事業）

事業コード	160216		担当課	生涯学習課	担当係	スポーツ振興係	担当者		
事務事業名	B & G 海洋センター管理事業			事業年度	令和4年度	会計区分	一般会計		
基本政策	1	子育て・教育・学び		事業コード	大	16	生涯スポーツ	10	教育費
主要施策	6	生涯スポーツ			中	02	施設の適切な維持管理と利用促進	07	保健体育費
					小	16	B & G 海洋センター管理事業	02	体育施設費
事務区分	法定受託事務		自治事務	○	根拠法令				
	法令による義務付け		努力義務+任意		関連例規	胎内市社会体育施設条例		関連計画	胎内市スポーツ推進計画/胎内市公共施設等総合管理計画

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	指定管理者制度により、B&G体育館、プール、艇庫（指定管理委託外）の効率的な管理運営、効果的な整備を行い、利用者にとって一層利用しやすい施設とし、もって生涯スポーツの振興を図る。（指定管理期間：2019年度～2023年度）
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 第2期指定管理期間（H31～R5） B & G 海洋センター艇庫の管理運営 自然体験活動の受け入れ（市内小学校、養護学校、専門学校、大学）
実施方法	指定管理+市が直接実施

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	◎				
評価の理由	◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない ・学校活動等において、コロナウィルス感染拡大が落ち着いたこととの反動からか、前年よりも利用者数が増加した。				

5 主な取組と実績（令和4年度～）

内容	
----	--

2 事業費の状況（令和4年度は実績値、令和5年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
総事業費（千円）	2,533	148,855			
国・県支出金	0	0			
地方債	0	109,600			
その他	41	42			
一般財源	2,492	39,213	0	0	0
人件費（千円）	712	0	0	0	0
正(h) ※事業費	760	0	0	0	0
※委任(h) ※事業費	0	0	0	0	0
総事業費+人件費	3,245	148,855	0	0	0
財源「その他」内訳	B&G艇庫土地賃借料41千円				
事業費の主な支出内容	水上バイク修繕160千円 救助艇修繕11千円				
算出方法	一般財源(人件費を除く) / 利用人数 ・指定管理料は総合体育館で計上				
実績	84円				

6 協働の状況

協働の状況	実施不可
具体的な状況	第2期指定管理期間（～R5年度）

7 事業の課題

課題	<ul style="list-style-type: none"> 当艇庫は北陸地区でトップシェアを誇る艇庫であるが、老朽化が進んでいること、トイレ・更衣室・シャワーなどがなく、このことから艇庫の建替工事、もしくは多機能化工事などが必要と思われる。 B&G体育館において、バスケットゴールはあるが故障のため使用できない状態となっている。利用者からも修繕要請が多々寄せられているため、入替えもしくは修理が必要と思われる。
----	--

3 指標値の状況

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
産出指標	名称	施設利用可能日数	施設利用可能日数	施設利用可能日数	
	目標	357日	357日	357日	
	実績	357日			
成果指標	名称	年間利用者数	年間利用者数	年間利用者数	
	目標	25,000人	25,000人	25,000人	
	実績	35,355人			
	目標比	141.4%			

8 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	②				
内容	令和5年度にプール上屋が完成することから、天候に関係なくプール授業が可能となる。これを好機と捉え、洋上風力発電の仕組みや水辺の安全教室等、学校授業にもプールを活用していく。 市民の方々が安全に利用できる体育施設として利用法を検討していく。 平成31年度より第2期指定管理期間（5年間）に入り、これまでの指定管理者及び指定管理施設等を見直し、今まで以上に市民ニーズに合った管理運営と経費削減を図る。				

9 二次評価委員会所見

所見	
----	--

今後の方向性				
成果の方向性	拡充	④	②	①
	維持	⑤	③	④
	縮小	⑥	④	⑤
	休廃止	⑦	⑤	⑥
		削減	縮小	維持
コスト投入の方向性				

事務事業評価シート（評価対象年度：令和4年度事業）

事業コード	160217		担当課	生涯学習課	担当係	スポーツ振興係	担当者			
事務事業名	胎内ライフル射撃場管理事業			事業年度	令和4年度		会計区分	一般会計		
基本政策	1	子育て・教育・学び		事業コード	大	16	生涯スポーツ	款	10	教育費
主要施策	6	生涯スポーツ			中	02	施設の適切な維持管理と利用促進	項目	07	保健体育費
					小	17	胎内ライフル射撃場管理事業	目	02	体育施設費
事務区分	法定受託事務		自治事務	○	根拠法令					
	法令による義務付け		任意		関連例規	胎内市新潟県立胎内ライフル射撃場管理及び運営に関する条例		関連計画	胎内市スポーツ推進計画／胎内市公共施設等総合管理計画	

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	県立胎内ライフル射撃場の効率的な管理運営、効果的な整備を行い、利用者にとって一層利用しやすい施設とし、もって生涯スポーツの振興を図る。
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ライフル射撃場の維持・管理 利用者へ貸し出し等業務 チームライフル体験の受入
実施方法	市が直接実施

2 事業費の状況（令和4年度は実績値、令和5年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
総事業費（千円）	4,004	5,976			
国・県支出金	0	0			
地方債	0	0			
その他	290	259			
一般財源	3,714	5,717	0	0	0
人件費（千円）	478	0	0	0	0
正(h) ※事業費	510	0	0	0	0
※委託料	0	0	0	0	0
※人件費	0	0	0	0	0
総事業費+人件費	4,482	5,976	0	0	0
財源「その他」内訳	使用料 290千円				
事業費の主な支出内容	委託料 2,047千円 光熱水費 1,698千円				
単位コスト	算出方法 一般財源(人件費を除く) / 利用人数				
実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	8,085円				

3 指標値の状況

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
産出指標	名称	ライフル射撃場利用可能日数	ライフル射撃場利用可能日数	ライフル射撃場利用可能日数	
	目標	140日	140日	140日	
	実績	120日			
成果指標	名称	ライフル射撃場年間利用者数	ライフル射撃場年間利用者数	ライフル射撃場年間利用者数	
	目標	1,100人	1,100人	1,100人	
	実績	442人			
	目標比	40.2%			

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	×				
評価の理由	◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない ・マイナー競技ということもあり、なかなか利用人数の大幅な増加は期待できないため、地道に魅力等を周知していくことに努める。				

5 主な取組と実績（令和4年度～）

[R4]	<ul style="list-style-type: none"> 条例改正（射撃場の区分を一つにまとめる他、料金体系の変更）
------	---

6 協働の状況

協働の状況	実施不可
具体的な状況	ライフル射撃という公安委員会からの許可が必要な特殊事情があるため

7 事業の課題

<ul style="list-style-type: none"> 県ライフル協会が競技人口の拡大・普及活動に消極的である。 県からの無償委託（利用料金は市が受領）により管理運営を行っているが、運営財源確保等について県と継続協議する。
--

8 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	⑤				
<ul style="list-style-type: none"> 利用促進に向け、特色ある当施設の魅力をSNS等を活用したPRを検討していく。 県立施設であり、県とランニングコストなど費用負担などのあり方について協議を続ける。 利用者数確保のため、大会等を誘致するよう協会に働きかけていく。 R5年度は北信越国民体育大会が新潟開催となり、ライフル射撃競技は当射撃場を使用することになっており、利用者の増加が見込まれる。 					

9 二次評価委員会所見

<p>今後の方向性</p>

今後の方向性				
成果の方向性	拡充	④	②	①
	維持	⑤	③	④
	縮小	⑥	④	⑤
	休廃止	⑦	⑤	⑥
		削減	縮小	維持
コスト投入の方向性				

事務事業評価シート（評価対象年度：令和4年度事業）

事業コード	160218		担当課	生涯学習課	担当係	スポーツ振興係	担当者			
事務事業名	総合体育館管理事業			事業年度	令和4年度		会計区分	一般会計		
基本政策	1	子育て・教育・学び		事業コード	大	16	生涯スポーツ	款	10	教育費
主要施策	6	生涯スポーツ			中	02	施設の適切な維持管理と利用促進	項目	07	保健体育費
					小	18	総合体育館管理事業	目	02	体育施設費
事務区分	法定受託事務		自治事務	○	根拠法令					
	法令による義務付け		任意		関連例規	胎内市社会体育施設条例		関連計画	胎内市スポーツ推進計画/胎内市公共施設等総合管理計画	

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	指定管理者制度により、総合体育館の効率的な管理運営、効果的な整備を行い、利用者にとって一層利用しやすい施設とし、もって生涯スポーツの振興を図る。 (指定管理期間：2019年度～2023年度)
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 第2期指定管理期間（H31～R5） モニタリングの実施 トレーニング機器等の賃借
実施方法	指定管理

2 事業費の状況（令和4年度は実績値、令和5年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
総事業費（千円）	91,738	88,534			
国・県支出金	0	0			
地方債	0	0			
その他	9,068	12,209			
一般財源	82,670	76,325	0	0	0
人件費（千円）	937	0	0	0	0
正(h) ※事業費	1,000	0	0	0	0
※委任(h) ※事業費	0	0	0	0	0
総事業費+人件費	92,675	88,534	0	0	0
財源「その他」内訳	社会体育施設光熱水費負担金 9,068千円				
事業費の主な支出内容	社会体育施設運営委託料73,700千円 トレーニング機器等賃借料1,188千円 ぶれすぼ案内看板改修工事3,200千円				
算出方法	一般財源(人件費を除く) /利用人数(総合体育館全体利用人数)				
実績	995円				

3 指標値の状況

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
産出指標	名称	施設利用可能日数	施設利用可能日数	施設利用可能日数	
	目標	345日	345日	345日	
	実績	357日			
成果指標	名称	トレーニングルーム年間利用者数	トレーニングルーム年間利用者数	トレーニングルーム年間利用者数	
	目標	21,000人	21,000人	21,000人	
	実績	15,392人			
	目標比	73.3%			

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	○				
◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない					
評価の理由	指定管理者制度を導入し、効果的・効率的な管理運営を目指しつつ、スポーツ推進の拠点施設として、より市民にとって身近な施設となるよう努めている。 コロナウイルス感染予防策により利用制限を行っている状況ではあるが、利用者数は昨年より横這いであり、利用者からは早期解除の声が上がっている。				

5 主な取組と実績（令和4年度～）

実施内容	
------	--

6 協働の状況

協働の状況	実施不可
具体的な状況	第2期指定管理期間（～R5年度）

7 事業の課題

課題	コロナ禍の影響による利用解除を図る必要がある。
----	-------------------------

8 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	①				
<ul style="list-style-type: none"> 令和6年度より第3期指定管理期間に入るため、次期指定管理に向けた仕様書等の作成を行う。 指定管理者による自主事業を拡大してもらい、より多くの利用者獲得を目標とし、スポーツのみならず文化活動においても総合体育館の利用促進を図っていく。 平成31年度より第2期指定管理期間（5年間）に入り、これまでの指定管理者及び指定管理施設等を見直し、今まで以上に市民ニーズに合った管理運営と経費削減を図る。 					

9 二次評価委員会所見

今後の方向性				
成果の方向性	拡充	④	②	①
	維持	⑤	③	
	縮小	⑥		
	休廃止	⑦		
		削減	縮小	維持
コスト投入の方向性				

事務事業評価シート（評価対象年度：令和4年度事業）

事業コード	160220		担当課	生涯学習課	担当係	スポーツ振興係	担当者		
事務事業名	胎内レクホール管理事業			事業年度	令和4年度	会計区分	一般会計		
基本政策	1	子育て・教育・学び		事業コード	大	16	生涯スポーツ	10	教育費
主要施策	6	生涯スポーツ			中	02	施設の適切な維持管理と利用促進	07	保健体育費
					小	20	胎内レクホール管理事業	02	体育施設費
事務区分	法定受託事務		自治事務	○	根拠法令				
	法令による義務付け		任意		関連例規	胎内市社会体育施設条例	関連計画	胎内市公共施設等総合管理計画	

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	胎内レクホールの効率的な管理運営、効果的な整備を行い、利用者にとって一層利用しやすい施設とし、もって生涯スポーツの振興を図る。
主な実施内容	・施設の管理運営
実施方法	市が直接実施＋委託

2 事業費の状況（令和4年度は実績値、令和5年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
総事業費（千円）	1,238	1,663			
国・県支出金	0	0			
地方債	0	0			
その他	169	120			
一般財源	1,069	1,543	0	0	0
人件費（千円）	131	0	0	0	0
正(h) ※事業費	○ 140	0	0	0	0
※事業費(委託料)	0	0	0	0	0
総事業費＋人件費	1,369	1,663	0	0	0
財源「その他」内訳	使用料 164千円				
事業費の主な支出内容	委託料 557千円 光熱水費負担金 432千円				
単位コスト	算出方法 一般財源(人件費を除く) / 利用人数				
実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	350円				

3 指標値の状況

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
産出指標	名称	施設利用可能日数	施設利用可能日数	施設利用可能日数	
	目標	357日	357日	357日	
	実績	357日			
成果指標	名称	年間利用者数	年間利用者数	年間利用者数	
	目標	1,500人	1,500人	1,500人	
	実績	3,081名			
	目標比	205.4%			

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	◎				
評価の理由	◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない 黒川体育館が取り壊しになり、これまでの利用者がレクホールに流れ、利用人数が増加した。				

5 主な取組と実績（令和4年度～）

[R4] 事業継続

6 協働の状況

協働の状況	実施不可
具体的な状況	施設管理運営であるため

7 事業の課題

・立地の関係上、冬期間は入口玄関が雪で囲まれてしまうことが多々あり、定期的に除雪作業を行っているが、間に合わない時があるのが現状である。ロイヤル胎内パークホテルと連携し、利用者が安全に利用できるように環境整備を図る必要がある。

8 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	③				
・黒川体育館が取り壊しになり、利用者が増加したことから、老朽化して危険な箇所がないかなど、これまで以上に管理を徹底していく。					

9 二次評価委員会所見

	今後の方向性				
成果の方向性	拡充	④	②	①	
	維持	⑤	③		
	縮小	⑥			
	休廃止	⑦			
	削減	縮小	維持	拡大	
	コスト投入の方向性				

事務事業評価シート（評価対象年度：令和4年度事業）

事業コード	160310		担当課	生涯学習課	担当係	スポーツ振興係	担当者		
事務事業名	競うスポーツ事業		事業年度	令和4年度	会計区分	一般会計			
基本政策	1	子育て・教育・学び	事業コード	大	16	生涯スポーツ	予算科目	10	教育費
主要施策	6	生涯スポーツ		中	03	スポーツを通じた交流の促進と地域の活性化		07	保健体育費
				小	10	競うスポーツ事業		01	保健体育総務費
事務区分	法定受託事務		自治事務	○	根拠法令	スポーツ基本法		関連計画	胎内市スポーツ推進計画
	法令による義務付け		努力義務+任意		関連例規				

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	スポーツ参画人口の裾野を広げるとともに、ジュニア選手からの一貫した育成体制の強化等により、全国で活躍するスポーツ選手の輩出を目指す。
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ協会へスポーツ振興補助金を交付する。 ・スポーツ大会出場激励費の交付。
実施方法	市が直接実施

2 事業費の状況（令和4年度は実績値、令和5年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
総事業費（千円）	4,563	3,995			
国・県支出金	0	0			
地方債	0	0			
その他	0	0			
一般財源	4,563	3,995	0	0	0
人件費（千円）	562	0	0	0	0
正(h) ※事業費	600	0	0	0	0
会計年度 ※任用(h) 費	0	0	0	0	0
総事業費+人件費	5,125	3,995	0	0	0
財源「その他」内訳					
事業費の主な支出内容	補助金 2240千円 激励費 1700千円				
単位コスト	算出方法 スポーツ振興補助金/スポーツ協会会員数				
実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	26352円				

3 指標値の状況

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
産出指標	名称	スポーツ振興補助金の交付	スポーツ振興補助金の交付	スポーツ振興補助金の交付	
	目標	1件	1件	1件	
	実績	85件			
成果指標	名称	全国大会出場者数(実人数)	全国大会出場者数(実人数)	全国大会出場者数(実人数)	
	目標	110人	110人	110人	
	実績	135名			
	目標比	122.7%			

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	◎				
評価の理由	◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない 競技スポーツに真剣に取り組む選手の活躍が、市民に勇気や活力を与えているが、スポーツを楽しむもうとする裾野の拡大に繋がるような啓発活動を行うなど、工夫が求められている。 R3年度はコロナ禍において、感染対策予防を講じたうえで大会が実施された。全国大会出場者数も目標数値の90%弱となった。 また、冬季北京オリンピックに胎内市出身選手が出場するなど、市のスポーツが例年以上に盛り上がりを見せた。				

5 主な取組と実績（令和4年度～）

実施内容	
------	--

6 協働の状況

協働の状況	実施不可
具体的な状況	市が大会等に出場する市民への応援事業であるため

7 事業の課題

課題	全国大会等に出場する選手の活躍をもっと市民へ伝え、スポーツ・運動への意識を高めていく必要がある。
----	--

8 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	③				
注	・開志国際高等学校や新潟食料農業大学との連携等は、将来有望なアスリートの効果的な発掘・育成を図る上で重要であることから、広報掲載するなどして活躍を報告するなどを検討する。				

9 二次評価委員会所見

今後の方向性	拡充	◎	④	②	①
	維持	◎	⑤	③	◎
	縮小	◎	⑥	◎	◎
	休廃止	◎	⑦	◎	◎
	削減	◎	◎	◎	◎
コスト投入の方向性	削減	縮小	維持	拡大	

事務事業評価シート（評価対象年度：令和4年度事業）

事業コード	160311		担当課	生涯学習課	担当係	スポーツ振興係	担当者		
事務事業名	する・みるスポーツ事業		事業年度	令和4年度		会計区分	一般会計		
基本政策	1	子育て・教育・学び	事業コード	大	16	生涯スポーツ	予算科目	10	教育費
主要施策	6	生涯スポーツ		中	03	スポーツを通じた交流の促進と地域の活性化		07	保健体育費
				小	11	する・みるスポーツ事業		01	保健体育総務費
事務区分	法定受託事務		自治事務	○	根拠法令	スポーツ基本法	関連計画	胎内市スポーツ推進計画	
	法令による義務付け		努力義務+任意		関連例規				

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	日常生活の中で自分に適した運動やスポーツに親しむ機会の拡充を図り、またスポーツへの関心を高め、スポーツの多様な楽しみ方に触れる機会の拡大を図る。
主な実施内容	するスポーツ ・主に働き盛り世代を対象としたスポーツ大会（委託開催）・イベントの開催（野球、ゴルフ、バレーボール、ソフトバレーボール大会、高齢者運動会の開催、ウォーキングイベント、体験型イベントの開催） ・たいない高原マラソンの開催（スポーツ振興補助金の交付） みるスポーツ ・胎内カップバスケットボールフェスティバルの開催協力
実施方法	市が直接実施+補助・負担

2 事業費の状況（令和4年度は実績値、令和5年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
総事業費（千円）	2,225	2,671			
国・県支出金	0	0			
地方債	0	0			
その他	0	168			
一般財源	2,225	2,503	0	0	0
人件費（千円）	375	0	0	0	0
正(h) ※事業費	400	0	0	0	0
※任用(h) ※業務費	0	0	0	0	0
総事業費+人件費	2,600	2,671	0	0	0
財源「その他」内訳	補助金 800千円				
事業費の主な支出内容					
単位コスト	算出方法 スポーツ振興補助金/スポーツツーリズムイベント参加者				
実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	3,555円				

3 指標値の状況

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
産出指標	名称	スポーツ・ツーリズムイベント開催回数	スポーツ・ツーリズムイベント開催回数	スポーツ・ツーリズムイベント開催回数	
	目標	2回以上	2回以上	2回以上	
	実績	3回			
成果指標	名称	スポーツツーリズムイベント参加人数	スポーツツーリズムイベント参加人数	スポーツツーリズムイベント参加人数	
	目標	750人	750人	750人	
	実績	679人			
	目標比	90.5%			

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	○				
◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない					
評価の理由	・新型コロナウイルス感染症の対策を徹底し、当初予定していた事業を実施することができた。スポーツ・ツーリズムイベントとしては楡形ウインドトレイル、胎内カップ（バスケットボール）、ツールド胎内を実施し（実行委員会含む）、目標値の90%を達成した。				

5 主な取組と実績（令和4年度～）

[R4] にいがたヘルス&スポーツマイレージ事業である「にいがたヘルスポウォークラリー」の参加周知を市HPで行った。また市内企業宛てに案内文書を送付し周知を図った。

6 協働の状況

協働の状況	実施・検討中
具体的な状況	スポーツ推進委員とは協働でウォーキングイベントを実施しているが、一般の方とは、検討中。

7 事業の課題

<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツイベントを安全に実施するために、スタッフ確保が必要となる。 ・市民の方が毎年楽しく運動に取り組めるように、適宜イベント内容の見直しを図る。

8 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	①				
<ul style="list-style-type: none"> ・ウォーキングと併せて胎内市の魅力的な自然や食を満喫できるようなイベントを検討していく。 ・みるスポーツとして、TAINAI DEERSのアメフト観戦ツアーなど、地域の特色を活かしたイベントを企画し、地域スポーツの盛り上げを図る。 ・地域おこし協力隊と連携を図り小学校や中学校で体育の授業を行うなど、市民のスポーツに参加する機会を増やしていく。 					

9 二次評価委員会所見

--

今後の方向性				
成果の方向性	拡充	④	②	①
	維持	⑤	③	④
	縮小	⑥	④	⑤
	休廃止	⑦	⑤	⑥
		削減	縮小	維持
コスト投入の方向性				